

意見交換会及び意見募集の実施結果について

意見交換会の実施概要

○対象：在住、在勤、在学の方

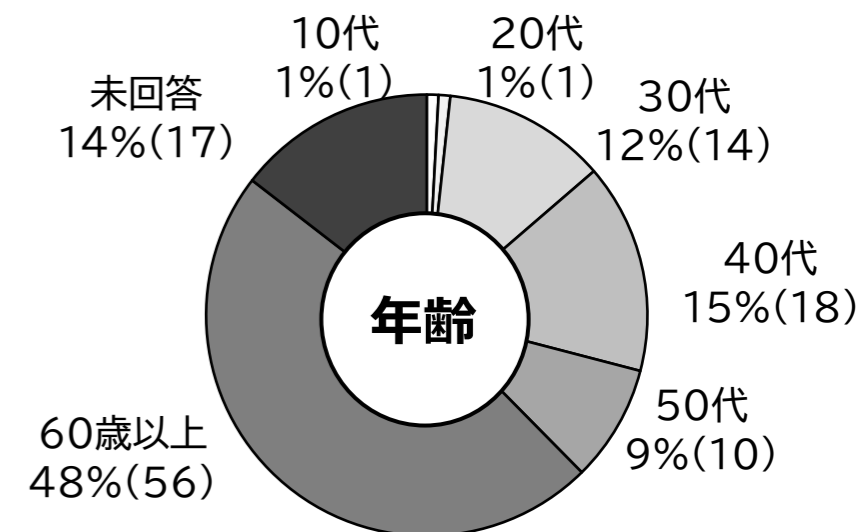
○周知方法等：広報紙（6月15日号）、区ホームページ、区メールマガジン、SNS（X、Facebook等）、せたがやPay、一般財団法人せたがやトラストまちづくりのメールマガジンなど。

また、18歳以上40歳代の区民を対象に、男女構成比や世代別人口構成比を踏まえ、住民基本台帳から無作為に抽出した1,000名（各地域200名）へ郵送による参加案内の送付。

○開催日時、会場、参加人数

地域	開催日時【令和6年】	会場	参加人数
世田谷	8月10日（土）	区役所第二庁舎4階大会議室	26名
北沢	8月3日（土）	北沢タウンホール12階スカイサロン	18名
玉川	8月2日（金）	玉川区民会館第4・5集会室	12名
砧	8月3日（土）	成城ホール集会室C・D	30名
烏山	7月27日（土）	烏山区民会館集会室	31名

合計117名



● 参加者属性 (全体)

意見募集の実施概要

○対象：在住、在勤、在学の方

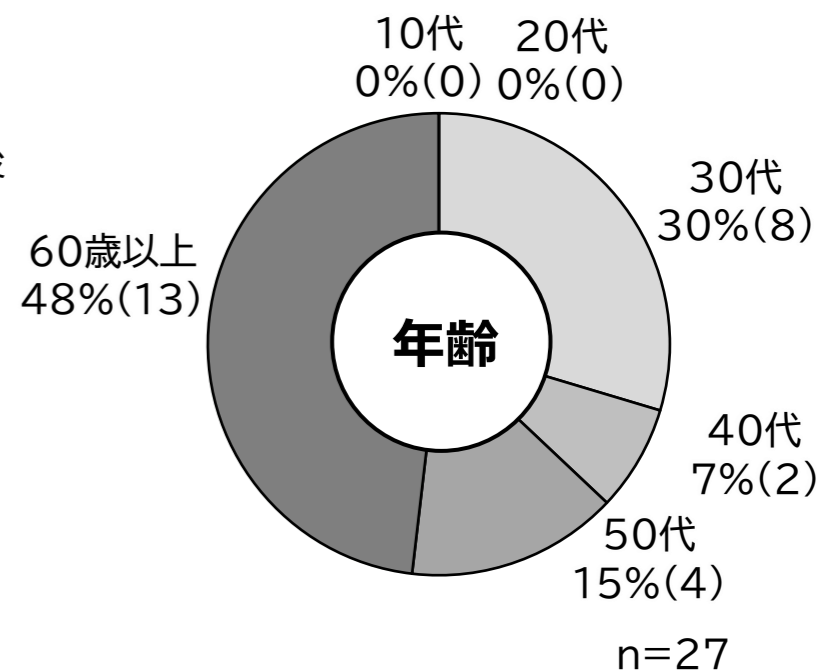
○周知方法等：広報紙（7月15日号）、区ホームページ、区メールマガジン、SNS（X、Facebook等）、せたがやPay、一般財団法人せたがやトラストまちづくりのメールマガジンなど。

○提出方法：区ホームページまたは都市計画課・各総合支所街づくり課の窓口で『「第二部「地域整備方針（後期）」』（たたき台）を閲覧の上、オンライン手続き又は書面（窓口持参・郵送・FAX）により意見書を提出。

○募集期間、意見書提出数

地域	募集期間【令和6年】	意見書提出数
世田谷	8月10日（土）～8月30日（金）	6件
北沢	8月3日（土）～8月30日（金）	2件
玉川	8月2日（金）～8月30日（金）	2件
砧	8月3日（土）～8月30日（金）	10件
烏山	7月27日（土）～8月30日（金）	7件

合計27件



● 意見者提出者属性 (全体)

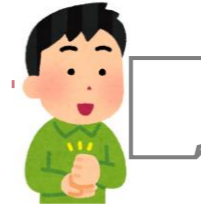
開催概要

【日時】2024年8月10日（土） 10時～ 12時
 【会場】区役所第二庁舎 4階大会議室 【参加者】26人



世田谷総合支所街づくり課からの地域整備方針（たたき台）の説明のあと、5つのテーマ別の方針の中で最も興味のあるテーマごとに集まり、意見交換を行いました。各グループでは、前半で最も興味のあるテーマを中心に意見交換を行い、後半でその他のテーマについても話し合いました。

意見募集



たたき台に対する主な意見の要旨

みず・みどり

- みどり豊かな事は大歓迎だが、放置もしくは定期的メンテナンスをしない事により被害を受ける側がいる事を理解してほしい。

地域資源

- 地域資源として「世田谷野菜」をおすすめする。

など



『テーマ別方針についての意見交換』

大事だと思うこと・その他気になること

安全で災害に強いまち

ブロック塀の生垣化をはじめとして、防災につながるみどりの活用と、災害時の避難場所について安心・安全の確保に関する意見が多くみられました。

みどり豊かで住みやすいまち

公園や住宅地、農地など様々な場所のみどりに関する意見や、みどりの質や維持管理に関する意見が多くみられました。

交流・活動の拠点をもつまち

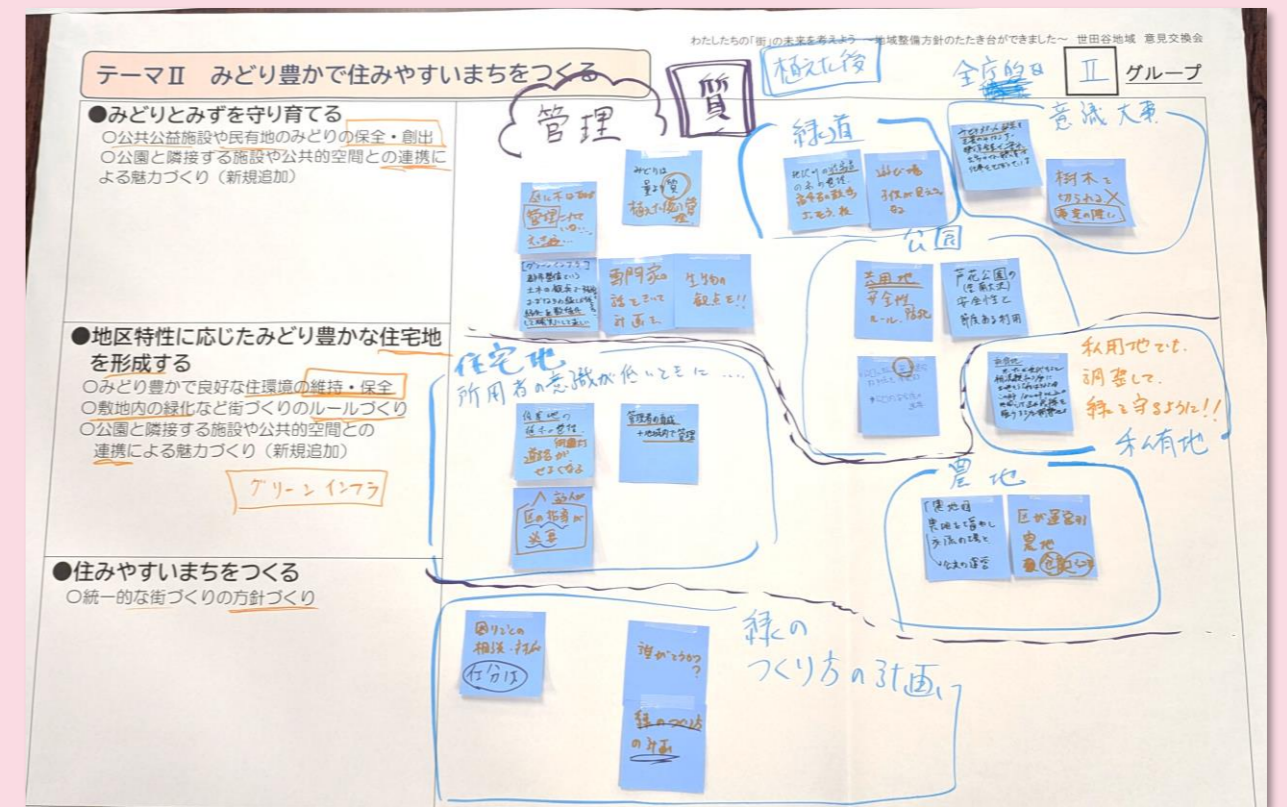
三軒茶屋駅周辺の話題が多くなりつつも、その他の駅についても意見が集まり、駅を中心に多様な世代が集まりやすい拠点づくりに関する意見が多くみられました。

地域資源の魅力を高めるまち

旧林愛作邸にある自然・文化資源等の保全や、周辺地域も含めたまちづくりに関する意見が多くみられました。

誰もが快適に移動できるまち

快適に利用できる交通基盤や、多様な交通手段が使えることの大きさなど、安全で楽しい移動空間に関する意見が多くみられました。



写真：IIグループ模造紙

【世田谷地域】 区民意見を踏まえた、素案への反映内容

意見交換会・意見募集を踏まえた区民意見の抜粋

区民意見のまとめ

素案へ反映した主な項目

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- ・ブロック塀を緑の生垣にしたら災害時にも有効なのではないか。
- ・生垣にする際の助成の周知を徹底。管理にも助成を出せないか。
- ・避難場所を安心・安全な場所にしたい。避難場所とされている小学校が古く、避難場所として自宅より安全なのか疑問。
- ・帰宅困難者の受入れについて考えておく必要がある。
- ・雨庭によって雨水抑制対策を促してはどうか。
- ・グリーンインフラとして雨水タンクを整備したい。

- 安全で安心できる避難場所の整備や帰宅困難者の受入れも含めた検討が求められている。
- 緑を生かした災害対策や雨水抑制対策の促進などが求められている。

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- 【防災生活圏内の安全性を向上させる】
- 防災生活圏内では、建築物の不燃化や耐震化、地先道路の整備、無電柱化の推進、ブロック塀等の生垣化等による安全対策、消防水利の整備などにより、地区の防災性の向上を図ります。
- 【避難時の安全性を向上させる】
- 国士舘大学一帯などの広域避難場所等への避難路の安全性向上や防災拠点、緊急輸送道路の機能確保を目的として、周辺の建築物の不燃化・耐震化を進めるとともに、安全で安心できる避難場所の整備を図ります。
- 【水害を抑制する】
- 浸水被害を軽減するため、グリーンインフラの考え方も活かした雨水流出抑制施設の設置を進めます。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- ・みどりは量より「質」。植えた後の管理が大事。
- ・公園・緑道にキッチンカーなど楽しめる空間に。
- ・緑道にベンチを増やす。
- ・緑道と公園等をネットワークさせられないか。

- 整備後のみどりの維持管理や公園と緑道のネットワーク化など、みどりの質を重視した環境の整備が求められている。
- ベンチやキッチンカーなど、公園や緑道などの公共空間を活用した住みやすいまちづくりが求められている。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- 【みどりとみずを守り育てる】
- 脱炭素地域づくりにもつながる公共公益施設や生産緑地地区、民有地の多様なみどりを保全・創出し、これらの水循環を支えるみどりの基盤をしっかりと守り、良好な市街地環境の形成を図り、グリーンインフラとして活用します。
- 三軒茶屋駅周辺では、公園の活用に関するマネジメントを検討し、公園と隣接する施設や公共的空間との連携による魅力ある街づくりを進めます。

テーマⅢ 交流・活動の拠点をもちまち

- ・若い世代や働く世代が集まりやすい駅周辺に拠点が欲しい。
- ・駅を中心に大学や企業も参加した拠点が欲しい。
- ・小学校・中学校を活動拠点として更なる活用。

- 駅を中心にした多様な世代が集まり交流できる拠点づくりが求められている。
- 小中学校など、既存の公共施設を活用した活動や交流の拠点づくりが求められている。

テーマⅢ 活動・交流の拠点をもちまち

- 【特性に応じた拠点の魅力を高める】
- 広域生活・文化拠点である三軒茶屋駅周辺地区や地域生活拠点である経堂駅周辺地区、区役所周辺地区は、拠点ごとの特性に応じて、様々な機能を充実させるとともに、歴史や文化、街並み等、まちの資源の活用などにより地域の魅力を高めます。
- ふれあい広場をはじめとする人々が集う公園・緑地・公共的空間などの活用により、地域のコミュニティ活動の拠点づくりを進めます。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- ・世田谷地域には世田谷線や駒沢公園、代官屋敷など魅力のあるところが多いが、なかなか訴求できていない。それぞれの場所へのアクセスを良くし、もっとPRしていく必要がある。
- ・旧林愛作邸の土地利用は、自然資源・文化資源・風景資産の保全を重視すべき。低層住宅地区に見合った文化財の保存を求める。

- 旧林愛作邸の土地利用は、住民・事業者・行政等との意見交換の上、自然資源・文化資源・風景資産の保全を図ることが求められている。
- 地域資源の魅力をPRしていくことが求められている。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- 【自然資源や歴史的資産、風景資産を活かし、まちの魅力を高める】
- 大規模な土地利用転換等が想定される地区においては、地域の特性を踏まえて歴史的資産などの保全・活用を図り、周辺と調和した適切な土地利用を誘導します。
- 【地域資源をPRし、愛着を高める】
- 自然・歴史・風景・にぎわいなど、地域の資源を発信し、区民の活動を支援することなどにより、地域への愛着を高めます。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- ・住宅地の中で制限速度を守らない自動車がいって危険。ハンパや狭さくなど、スピードを抑制する整備をすると良いのではないか。
- ・自転車だけでなく電動キックボードなど、多様な交通手段が出てきている。基盤に加えて、ルールやマナーを周知してみんなが快適に多様な交通手段を使えるようになるとうい。

- 住宅地内の交通安全性の確保が求められている。
- 多様な交通手段が出てきている中で、基盤を整えるだけでなく、ルールやマナーの周知なども求められている。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- 【誰もが安全・快適に利用できる交通基盤とする】
- 道路整備や駅周辺の拠点整備などでは、歩行環境、自転車利用環境などを整え、誰もが安全で快適に移動できる環境の整備に取り組みます。
- 【誰もが安全・快適に利用できる交通基盤とする】
- 新たなモビリティの普及やICTの活用による、交通手段の多様化をめざします。

開催概要

【日時】2024年8月3日(土) 10時~12時
【会場】北沢タウンホール 12階スカイサロン 【参加者】18人



北沢総合支所街づくり課からの地域整備方針(たたき台)の説明のあと、くじ引きで決めたテーマと、取り上げたいテーマの2つのテーマについて、グループごとに「大事だと思うこと」などを付せん書き出ししながら、意見交換しました。

意見募集

たたき台に対する主な意見の要旨

道路

- 補助54号線と補助128号線を最優先で全通させてほしい。

その他

- 市街地特性をいかした魅力的な計画で、より実効性の高いものにしてほしい。

など



『テーマ別方針についての意見交換』

安全で災害に強いまち

住宅が密集する北沢地域においては、重要なテーマである。日頃からの人と人のつながりが大切である。防災訓練の実施や避難経路の確認などが重要である。

みどり豊かで住みやすいまち

温暖化防止の観点からも重要なテーマである。人が集う木陰を充実させたい。身近なみどりや、自分たちで管理できる範囲のみどりを守っていくことが大事である。道路予定地などの遊休地を未使用の期間は公園にする。暫定利用でみどりをふやすきっかけづくり。

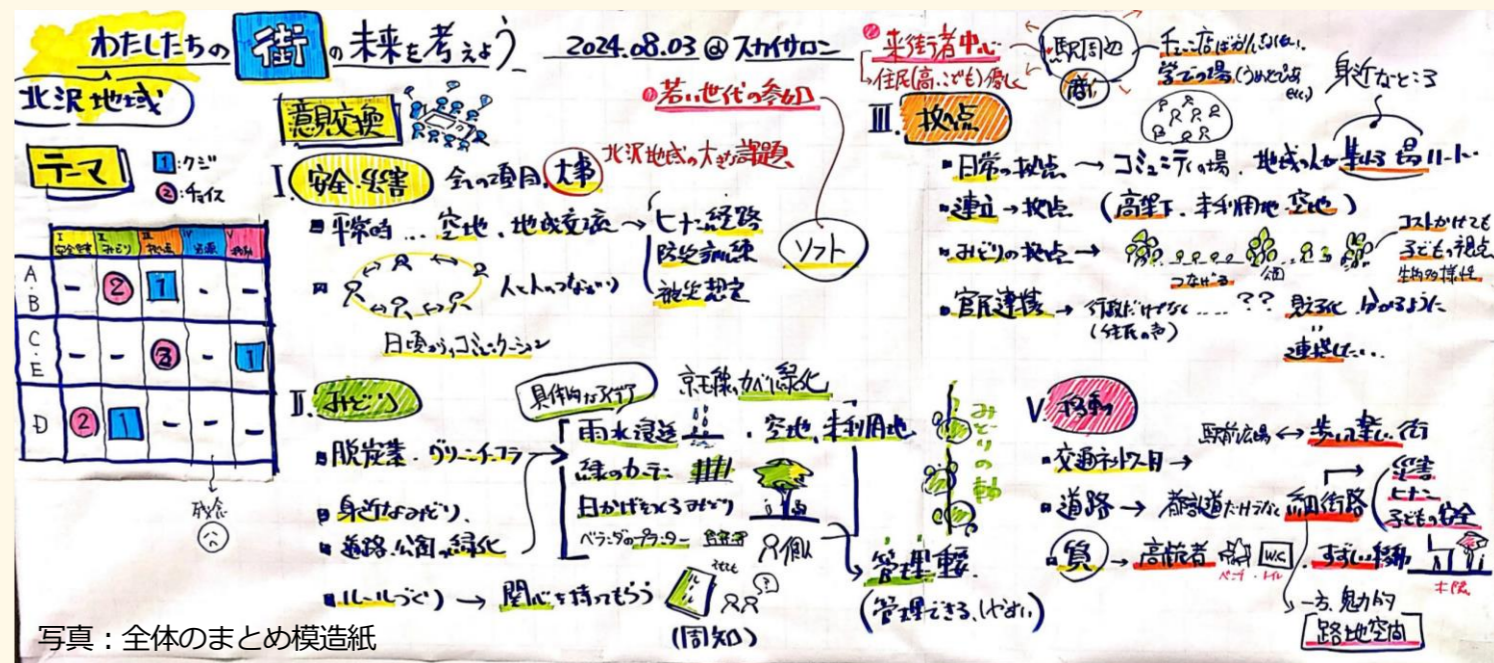
交流・活動の拠点をもつまち

未利用地などを活用し、日常的に地元住民が交流できる場を作ってほしい。街づくりの事業を行うにあたっては、地域住民の声を大事に進めてほしい。

大事だと思うこと・その他気になること

誰もが快適に移動できるまち

地先道路の安全性向上をしてほしい。魅力的な路地空間もあり歩行者の居場所として捉えるべき。高齢者にとっては、座れる場所だけでなく、公衆トイレも必要である。



【北沢地域】 区民意見を踏まえた、素案への反映内容

意見交換会・意見募集を踏まえた区民意見の抜粋

区民意見のまとめ

素案へ反映した主な項目

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- ・たたき台のすべての項目が大事。
- ・防災活動ができる小広場を点在させることで、延焼を防ぐ。
- ・平常時から発災時を想定した訓練、避難場所の確認が必要。
- ・日常から住民交流をすることで災害時の助け合いにつながる。
- ・広い面積を占める道路や駐車場の雨水浸透を徹底してほしい。

- 小広場を点在させることにより、火災時の安全性の向上が求められている。
- 災害時に備え、平常時からの訓練や住民同士の繋がりが求められている。
- 水害を抑制するために、雨水流出抑制施設の積極的な整備が求められている。

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- 【防災生活圏内の安全性を向上させる】
- 震災時に消防活動が困難とされる区域では、消防活動や避難を円滑にするための地先道路の整備を進め、行き止まり道路や狭あい道路を解消するとともに、消防水利を確保し防災性の向上に配慮した公園などを配置します。
- 【復興に備える】
- 復興まちづくりを円滑に進めていくために、平常から復興手順や役割分担の整理を図ります。被災後は本方針や地区計画等を踏まえて早期の復興まちづくりに取り組みます。
- 【水害を抑制する】
- 浸水被害を軽減するため、グリーンインフラの考え方も活かした、雨水流出抑制施設の設置を進めます。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- ・温暖化防止、人が集う木陰を作るみどりを充実させたい
- ・雨水浸透の観点からも舗装しない場所を増やしてほしい。
- ・プランターなど個人でもできることから緑を増やすことが大事。
- ・行政任せではなく、自分たちで管理できる範囲のみどりを守っていくことが大事。
- ・生産緑地が開発される際は従前の土地利用を考慮してほしい。
- ・空地(計画用遊休地)等を期間限定で公園等にしてほしい。
- ・暫定利用でみどりをふやすきっかけづくりを。

- 温暖化対策、雨水浸透の観点からグリーンインフラの積極的な活用が求められている。
- みどりを守り育てるため、区民主体で緑を増やす取り組みが必要との認識がある。
- 都市基盤整備に合わせて、暫定空き地を活用したみどりの創出が求められている。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- 【みどりとみずを守り育てる】
- みどりのネットワークを形成するため、みどりの拠点を核として、樹林地や農地、公園・緑地、緑道のみどりを保全し、道路や住宅地などにおいて連続した緑化を進め、グリーンインフラとしての活用も推進します。
- 【より住みやすい住環境を確保する】
- みどりのある住みやすい良好な住環境を形成するため、脱炭素地域づくりの視点も踏まえながら地区特性に応じた街づくりに関するルールづくりを進めるとともに、区民や事業者が進めるみどりの保全や創出の取り組みを支援します。
- 大規模敷地の建て替えや土地利用転換では、都市基盤整備や公園・公開空地の整備、緑化等の環境配慮を誘導します。都市計画事業においては事業期間中の環境保全に努めます。

テーマⅢ 交流・活動の拠点をもつまち

- ・道路事業によってみどりがなくなった。コストをかけてもみどりは守るべき。
- ・下北沢が来街者中心になってきているように思う。周辺には高齢者が多く住んでおり、どの世代にも優しいまちにしてほしい。
- ・事業にあたっては、事業者の視点だけではなく、住民や利用者の声を優先してほしい。
- ・連立事業の高架下スペースや未利用地・空き地などで、地元住民の交流の場を作ってほしい。

- 土地利用に配慮し、良い環境を継承していくことが求められている。
- 都市計画事業において、みどりを守っていくことが求められている。
- 地域住民の視点を大事にした街づくりが求められている。
- 高架下や未利用地などで交流の場づくりが求められている。

テーマⅢ 活動・交流の拠点をもつまち

- 【にぎわいや活気のある拠点の魅力を高める】
- 都市計画事業が進められている駅周辺においては、事業期間中もまちのにぎわいや活力の維持に努め、にぎわいや防災、みどり、風景などに配慮した活動・交流の拠点づくりを行います。また、まちの機運や駅前整備等と合わせて官民連携によるまちの維持・管理・運営などに取り組み、まちの安全性や魅力を高めます。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- ・専門家などと一緒に歩いたり勉強することで地域の魅力を知り、高める意識につながる。

- 地域の魅力を共有することが求められている。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- 【自然資源の魅力を高める】
- 良好な風景を形成する屋敷林や社寺林、都市の貴重な資源である農地、富士山の眺めなど、日常生活に身近な自然資源の魅力を区民と共有し、大切にします。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- ・補助54号線と補助128号線を最優先で全通させてほしい。
- ・地先道路の安全性向上が大事。セットバックなどで人が歩ける道路にするべき。また、魅力的な路地空間もあり、歩行者の居場所としてとらえるべき。
- ・魅力的な路地空間もあり、歩行者の居場所としてとらえるべき。
- ・歩いて行ける場所の場合、すわれる場所、緑影のある道が大切。
- ・座れる場所だけでなく、高齢者には公衆トイレも必要。

- 都市計画道路の着実な整備が求められている。
- 地先道路は歩行者にとっての安全で魅力的な空間に整備することが求められている。
- 快適な徒歩移動において、座れる場所、緑陰のある道、トイレが求められている。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- 【歩行者や自転車利用者の安全性と快適性を高める】
- 都市計画道路等の整備を進め、地先道路への通過交通を抑制し、歩行者と自転車利用者の安全性の向上を図ります。また、歩道の整備や事業者の協力による歩道状空地などにより安全な歩行空間を確保します。
- 歩行者の安全性を高め、防災性の向上を図るために、街づくりのなかで地先道路の適切な配置を検討し、整備を進めます。
- 公共施設等の整備や大規模な土地利用転換の際は座れる場づくりを促進します。
- 【交通環境の質を高める】
- 道路や緑道の整備では、環境や防災、風景などに配慮するとともに、ユニバーサルデザインによる整備を進めます。

開催概要

【日時】2024年8月2日（金） 18時30分～20時30分
【会場】玉川区民会館 第4・5集会室 【参加者】12人



写真：意見交換様子

玉川総合支所街づくり課からの地域整備方針（たたき台）の説明のあと、5つのテーマ別の方針の中で、特に気になるテーマを取り上げ、3つのグループに分かれて「大事だと思うこと」などを付せんに書き出しながら、意見交換しました。

意見募集

たたき台に対する主な意見の要旨

- みず・みどり
- 道
- ソフト面の取組み

- グリーンインフラの考えを多くの人々に知ってもらいたい。
- 大井町線を立体化する際には地下水について慎重に検討してほしい。
- 人が優先される道づくりを進めてほしい。
- 住民のウェルビーイングの向上に向け、ソフト面の取組みとの連携も記載してほしい。



『テーマ別方針についての意見交換』

大事だと思うこと・その他気になること

安全で災害に強いまち

水害や土砂災害、火災などへの対策は重要である。危ない場所や、防災に使える場所の周知も大切である。

みどり豊かで住みやすいまち

多摩川の水が綺麗になっているので、ヒグラシやホタルを増やしたい。これからはみどりの維持や管理が課題である。

交流・活動の拠点をもつまち

人が集まる二子玉川駅周辺での活気ある街づくりは大切である。駅前に住民のための身近な交流の場があるとよい。

地域資源の魅力を高めるまち

みどり豊かで夏は涼しい等々力渓谷は大切な資源である。

誰もが快適に移動できるまち

大井町線の立体化で開かずの踏切がなくなることを期待している。安心して歩ける道づくりは大切である。

「これは大事!」と思う方針へのご意見
その他「気になる点(もっとこうなつたらいいなど)」の意見を
ふせんにご記入ください

テーマII みどり豊かで住みやすいまちをつくる

●みどりとみずを守り育てる
○民地での沿道部分や屋上の緑化 ○川沿いや緑道、街路樹などのみどりのネットワーク ○農地の保全

●良好な住環境の維持・向上を図る
○住宅地での敷地の細分化の防止/みどりの保全 ○国分寺崖線などでのみどり豊かな住宅地

テーマIV 地域資源の魅力を高めるまちをつくる

●地域の貴重な自然資源を守り、育てる
○国分寺崖線や、等々力渓谷などの自然の保全 ○多摩川の水際ののみずとみどりに親しめる空間づくり

●風景の魅力を高める
○地域の資源(歴史資産、文化施設)を活かした風景づくり ○国分寺崖線での地形やみどりを活かした風景づくり

玉川地域 Bグループ

その他のご意見

その他のご意見

その他のご意見

写真：Bグループ模造紙

【玉川地域】 区民意見を踏まえた、素案への反映内容

意見交換会・意見募集を踏まえた区民意見の抜粋

区民意見のまとめ

素案へ反映した主な項目

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- ・木造住宅、高齢者の一人暮らし、空き家が多い地域は、特に火災への対策が必要。
- ・ブロック塀倒壊事故の危険もあるので、助成を使った撤去を推進すべき
- ・台風19号では浸水により病院が機能しなくなり、ショックを受けた。水害対策は大切。
- ・土砂災害時に緊急車両などが通れなくなることが心配。

- 多摩川の豪雨・浸水や土砂災害への対策や、木造住宅が多い地域での火災対策、ブロック塀の安全対策が求められている。

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- 【防災生活圏内の安全性を向上させる】
- 新町二丁目地区などの消防活動困難区域や不燃領域率の低い地区では、地先道路の整備や公園・小広場の整備、建築物の不燃化や耐震化と隣棟間隔の確保、ブロック塀の安全対策等により、総合的な防災・減災対策を進めます。
- 【水害や土砂災害を抑制する】
- 河川に近い区域や、浸水被害が想定される地区を中心に豪雨・浸水対策を進めます。
 - 国分寺崖線沿いに多く分布する土砂災害特別警戒区域等での、公共施設のがけや擁壁の安全性を確保するため、適切な維持管理、土地所有者等への必要な支援に取り組みます。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- ・河川の水が綺麗になっているため、ヒグラシやホタルなどが暮らせるような水辺環境にしたい。

- 河川での多様な生物が生息できる環境づくりが求められている。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- 【みどりとみずを守り育てる】
- みどりとみずのネットワークを形成するため、緑道や水辺、街路樹及び民有地のみどりなどで連続した緑化を進め、多様な生きものが生息・生育できる緑環境と水環境の創出を図り、グリーンインフラとしての活用も推進します。
 - 建築物の壁面後退などによるオープンスペースの創出、道路沿道での視覚効果の高い緑化、屋上緑化などにより、脱炭素地域づくりにもつながるみどりの創出を図ります。

テーマⅢ 交流・活動の拠点をもつまち

- ・玉川野毛町公園や上用賀公園の整備に期待している。
- ・子どもたちの学びの場となる、多様な使い方ができる公園があると良い。
- ・商業・行政サービスが集積する駅周辺は、商店街が活性化されるとよい。
- <二子玉川駅周辺>
- ・人が集まる二子玉川駅周辺は重要なエリアであるため、駅周辺の活気ある街づくりを進めてほしい。
- ・キッチンカー事業などの多摩川河川敷での取り組みは民間業者と共に推奨して行ってほしい。
- ・駅周辺は地元住民に向けた活動・交流の場が充実すると良い。

- 多様な使い方ができる公園の整備が期待されている。
- 駅周辺の地域生活拠点では活気がある街づくりが求められている。
- 二子玉川地区では、区民、事業者、区の連携による、にぎわいの創出や多摩川河川敷の魅力の向上が期待されている。
- 住民に向けた活動・交流の場の創出が期待されている。

テーマⅢ 活動・交流の拠点をもつまち

- 【身近に活動・交流の場をつくる】
- 上用賀公園、玉川野毛町公園など、特色ある公園の整備や、身近な公園・広場の整備を進め、区民にとって身近な活動・交流の場づくりを進めます。
- 【活力ある生活拠点とする】
- 奥沢駅・自由が丘駅周辺地区をはじめとする地域生活拠点では、建築物の壁面後退による歩行空間やみどり空間の確保に努めるとともに、交通結節機能の強化を図り、活気ある拠点の形成をめざします。
 - 広域生活・文化拠点である二子玉川駅周辺地区では、商業・業務・文化・交流・レクリエーションなど様々な機能を備え、にぎわいと居住、自然環境の調和が図れた魅力ある拠点とするため、住民・事業者・区が協働して街づくり活動を進めます。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- ・多摩川や等々力渓谷などの豊かな自然環境が充実しており、それらを適切に維持管理していくことが大切である
- ・等々力渓谷でのナラ枯れ材を活用してはどうか

- 豊かな自然資源の維持・保全が求められている。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- 【地域の貴重な自然資源を守り、育てる】
- 国分寺崖線や、等々力渓谷などの豊かな自然を保全します。
 - 多摩川は、自然環境の保全に配慮し、水際環境整備など、みどりとみずに親しめる空間づくりを進めます。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- ・踏切が開かず、移動が困難であるほか、線路で街が分断されている。大井町線の立体化の早期実現に期待している。
- ・歩行者や自転車の歩行・走行空間が狭く危険なところがある。障害者や認知症の方も快適に移動できる空間の確保が大切。
- ・移動手段がない地域での交通環境の整備は大切。(深沢、野毛、奥沢)

- 東急大井町線、東横線による街の分断や開かずの踏切の解消が求められている。
- 歩行者や自転車が安全に移動できる空間の確保により誰もが快適に移動できることが求められている。
- 移動手段のない地域での交通環境の充実が求められている。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- 【渋滞を解消し、住宅街の通過交通を減らす】
- 大井町線及び東横線の立体化を促進し、鉄道により分断されていた歩行者・自転車・自動車交通の円滑化を図ります。
- 【歩行者や自転車利用者の安全性と快適性を高める】
- 都市計画道路や主要生活道路の整備、建築物、商店街の壁面後退などにより安全で快適な歩行空間や座れる場づくりを推進するとともに自転車走行環境などを整え、誰もが安全で快適に移動できる環境の整備に取り組みます。
- 【快適で利用しやすい交通環境の整備を進める】
- 新たなモビリティの普及やICTの活用による、交通手段の多様化をめざします。

開催概要

【日時】2024年8月3日(土) 10時~12時
【会場】成城ホール集会室C・D 【参加者数】30人



写真：意見交換様子

砧総合支所街づくり課からの地域整備方針（たたき台）の説明のあと、5つのグループに分かれて、関心のあるテーマや、砧地域の駅周辺の街づくり・地域資源について「大事だと思うこと」などを付せんに書き出しながら、意見交換しました。

意見募集

たたき台に対する主な意見の要旨

安全対策

気候変動の影響で、よりレベルを上げて豪雨対策に取り組む必要があるようだ。

みず・みどり

まちの中の土の部分を守ることが大切。

ウォーカブル

各駅周辺にウォーカブルなエリアが必要ではないか。

など



『テーマ別方針についての意見交換』

安全で災害に強いまち

災害、がけ崩れの防止など安心のために国分寺崖線が人工的に整備されないか心配である。

復興街づくりを考える前に、犠牲者を出さないことを優先にした取組みが重要である。

みどり豊かで住みやすいまち

古木も多いので、崖地にある樹林地の管理をしっかりすべき。

人間も生き物の一員なので、生き物の生育環境を大切にしたい。

交流・活動の拠点をもつまち

駅ごとに特徴をもった街づくりができると良い。

地域資源の魅力を高めるまち

国分寺崖線はフィールドミュージアムとして価値が高い。

地域の歴史・文化をもっと分かりやすく活用できると良い。

誰もが快適に移動できるまち

車いすの方やベビーカー、高齢者など幅広い人を意識してウォーカブルを考えてほしい。

予約制乗合ワゴンは便利なので、本数やエリアを増やしてほしい。

大事だと思うこと・その他気になること



写真：Bグループ模造紙

【砧地域】 区民意見を踏まえた、素案への反映内容

意見交換会・意見募集を踏まえた区民意見の抜粋

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- ・斜面地は樹木の更新によってがけ崩れを防いで欲しい。
- ・災害、がけ崩れの防止など安心のために国分寺崖線が人工的に整備されないか心配。
- ・復興まちづくりを考える前に、犠牲者を出さないことを優先にした取組みが重要。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- ・グリーンインフラなどの取組みに関心がある方は多いと思うので、もっと区民に周知した方がよい。
- ・道路予定地をアスファルトで覆うのではなく土のまま緑を植えて、区民が利用できる場になると良い。
- ・国分寺崖線の保全を謳っているが、樹木の維持管理が十分でない。(ナラ枯れ等)
- ・人間は生き物の一部であるため、人間だけではなく生き物の生育環境を中心に据えた環境づくりの考え方が大切である。
- ・太陽光発電と蓄電池以外の脱炭素化の取組みが重要。
- ・みどりやみず、ライフスタイルも利用した総合的な脱炭素化を図りたい。

テーマⅢ 交流・活動の拠点をもつまち

- ・小田急線の各駅ごとにカラーを打ち出せると良い。
- ・成城学園前駅周辺は、活気ある商店街づくりを進めるとともに、文化を感じられるような街づくりが進められると良い。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- ・農地にまつわる歴史や文化を次世代に伝えたり、農と触れ合う様々な活動を通じて保全を図るべき。
- ・国分寺崖線の連なりは、フィールドミュージアムとして重要である。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- ・ウォーカブルの考え方に、歩行者だけでなく車いすなど移動が困難な方も加えるべき。
- ・各駅周辺にウォーカブルなエリアが必要ではないか。
- ・自転車はCO2を出さないクリーンで手軽な乗り物。自転車走行レーンを整備しているフランスのように、もっと評価されるべき。
- ・予約制乗合ワゴンがとても良いので、運行日を増やしてほしい。
- ・コミュニティバス以外にも一人乗りの超小型モビリティや、電動キックボードや電動アシスト自転車など複合的な移動手段を考えていく必要がある。

区民意見のまとめ

- 国分寺崖線におけるがけ崩れ等に対し、自然環境にも配慮しながら安全を確保する防災対策が求められている。
- 犠牲者を減らす視点に立った平時からの防災・減災街づくりが求められている。

- グリーンインフラの取組みの周知や、雨水が浸透する土の地面の増加が求められている。
- 国分寺崖線のみどりの適切な維持管理が求められている。
- 人間中心ではなく、地域の生き物がより一層生息、生育し易くなる水辺環境づくりが求められている。
- 脱炭素化を進めるための取組みについて関心が集まっている。

- 小田急線の各駅周辺について、特色ある街づくりが求められている。成城学園前駅周辺地区では、文化やみどりなどの要素も交えながら、活気のある街づくりが求められている。

- 国分寺崖線の樹林地や農地において、体験・学習できる機会を通じ、保全への機運が高まっていくことが求められている。

- 年齢や能力、障がいの有無等に関わらず、誰もが快適に移動ができる環境づくりが求められている。
- 環境にも優しい自転車の移動環境が重視されている。
- 予約制乗合ワゴンの利便性を評価し、更なる移動手段の充実が求められている。

素案へ反映した主な項目

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- 【水害や土砂災害を抑制する】
- 国分寺崖線沿いに多く分布する土砂災害特別警戒区域等において、公共施設のがけや擁壁の安全性を確保するため、定期的な巡回点検等により適切な維持管理に努めるとともに、樹林地の保全と両立する斜面保護対策を検討し、対応に努めます。
- グリーンインフラの考え方を活かし、雨水を貯留浸透させる自然面の確保や、道路・公園、民有地などにおける雨水流出抑制施設の設置を進めます。
- 【復興に備える】
- 復興まちづくりを円滑に進めていくために、平時から復興手順や役割分担の整理を図ります。被災後は本方針や地区計画等を踏まえて早期の復興まちづくりに取り組みます。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- 【みどりを守り育てる】
- 国分寺崖線や街路樹などのみどりは、適切に維持管理し、暑熱環境を緩和する緑陰の確保に努めるとともに、多様な生きものが生息・生育できるみどり環境づくりに取り組みます。
- 【みずを守り育てる】
- 多摩川、野川、仙川などのみず資源を保全しつつ、多自然川づくりなどにより、多様な生きものが生息・生育できる水辺環境の再生を図ります。
- 【地区特性に応じたみどり豊かな住宅地等の整備を進める】
- 脱炭素化を推進するとともに、みどり豊かな自然環境の保全や災害時の自立電源の確保等、様々な地域課題をあわせて解決していくことで持続可能な地域づくりに取り組みます。

テーマⅢ 活動・交流の拠点をもつまち

- 【活力ある生活拠点とする】
- 主要な地域生活拠点である成城学園前駅周辺地区は、おしゃれでみどり薫る拠点とするため、駅周辺の活力ある商業地と閑静で良好な住宅地の双方が調和し、風景に配慮した街づくりを進めます。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- 【自然資源の魅力を高める】
- みどりとみず及び農のある風景が多く残る地区では、自然や生態系を大切に、国分寺崖線や農地の保全、環境共生等に係る、世田谷・みどりのフィールドミュージアムなどの活用により、身近なみどりとみずの魅力に触れることのできる学習・体験の場を提供します。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- 【歩行者や自転車利用者の安全性と快適性を高める】
- 道路や公園、河川・水路・緑道等を活用し歩行者空間を確保するとともに、ベンチ等の設置に取り組むことで、安全で誰もが楽しいウォーカブルな街づくりを進めます。
- 広幅員の道路が少ない砧地域において、自転車で安全かつ快適に通行できるよう自転車走行環境の改善を図ります。
- 【各拠点や施設をつなぐ】
- コミュニティ交通の実証運行や新たなモビリティの試験運行など、公共交通不便地域の移動環境の改善につなげ、誰もが快適に移動ができる街づくりを進めます。

開催概要

【日時】令和6年7月27日(土) 10時~12時
【会場】烏山区民会館 集会室 【参加者】31人



地域整備方針（たたき台）の説明のあと、グループに分かれて、「大切だと感じた点や、気づいた点」などの意見交換を行いました。

意見募集



たたき台に対する主な意見の要旨

地域資源

- ・ボランティアによる街の美化活動。
- ・歴史を継承してほしい。

自転車

- ・シェアサイクルは良い。
- ・ヘルメット着用等の安全への留意。
- ・駅前の駐輪問題。 など

にぎわい

農地

千歳烏山

防災

子育て

その他、意見交換会に対して、「また参加したい」等のご意見をいただきました。



『テーマ別方針についての意見交換』

大切だと感じた点・気づいた点など

Aグループ

「せまい道路・行き止まり道路が懸念」「人や自転車の道が大切」「樹林や農地を残したい」「自然を残した住宅づくり」「烏山ならではのまちづくり」「みどりを活かす」「バス交通の課題」「駅前の駐輪問題」

Bグループ

「歩行者・自転車・車のバランス」「火災の際に危ない」「農地保全・農業体験」「樹木の維持保全」「公共施設の使い方」「子どものための活動・交流」「商店街はチトカラの魅力」「南北の行来の不便さ」

Cグループ

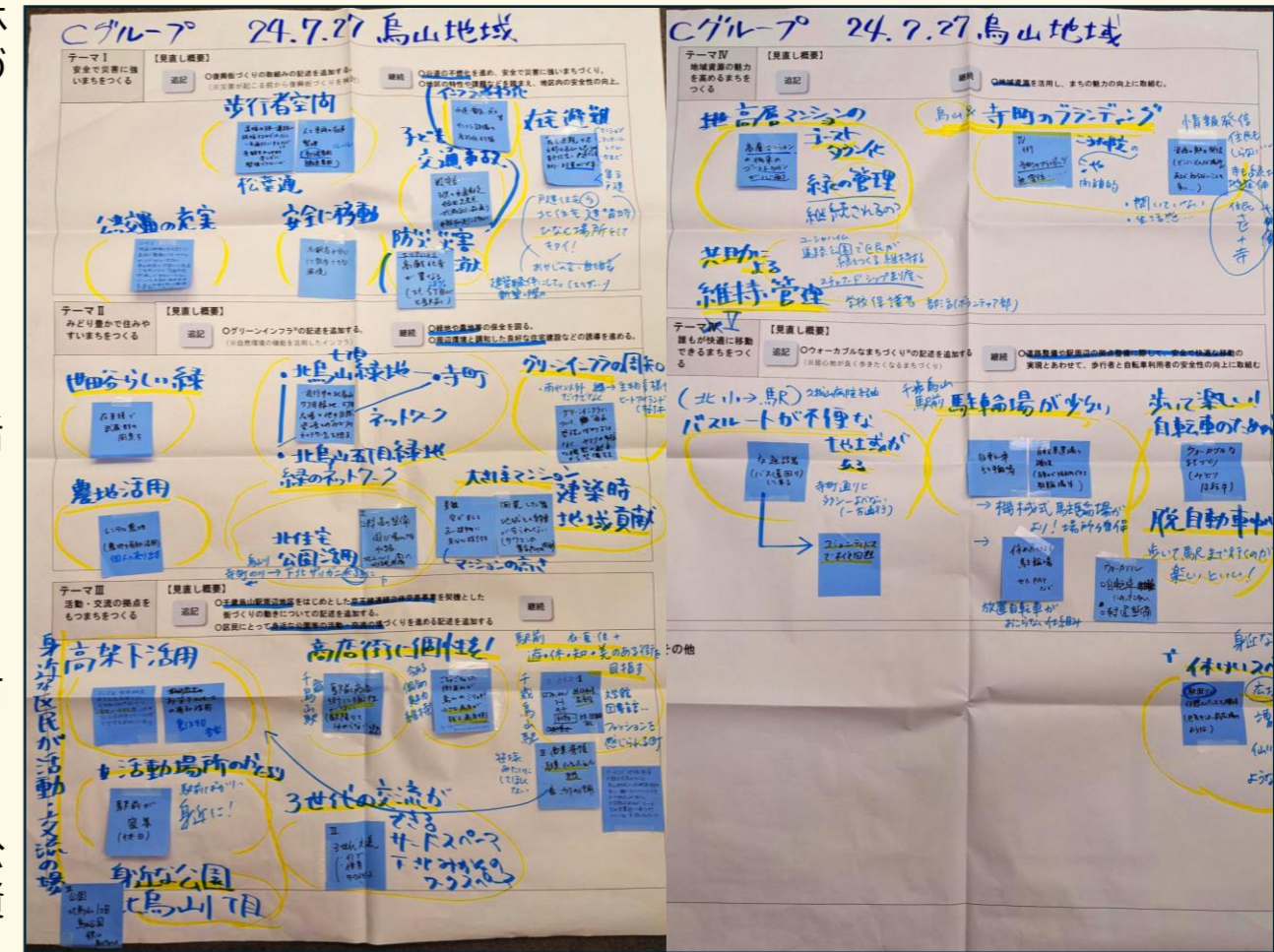
「歩行者空間の確保」「大規模マンション建築時の地域貢献」「身近な活動・交流の場」「商店街に個性を」「連続立体交差事業の高架下活用」「寺町のブランディング」「駐輪場が少ない」「歩いて楽しい道」

Dグループ

「生活道路の安全性の確保」「駅周辺の安全安心」「身近な公園等がない」「活動・交流の場づくり」「町会活動は地域資源」「再開発が魅力」「駅前の歩行者空間の確保」「烏山地域のバスについて」

Eグループ

「災害に強い道路づくり」「地域がまとまれば復興が早い」「特徴のある公園づくり」「みどりと子育ての場の共存」「エリアマネジメント」「地域資源等の情報発信」「ウォーカブル」「鉄道の南北分断」「南北の移動手段」



写真：Cグループ模造紙

【烏山地域】 区民意見を踏まえた、素案への反映内容

意見交換会・意見募集を踏まえた区民意見の抜粋

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- ・道路が新しく整備された箇所は広くて良い。
- ・行き止まり道路が多いが、今後の進捗はどうか。緊急時に不安。
- ・消防車や救急車が入りにくい細かい道路がたくさん。
- ・狭い住宅が増えているように思う。火災など危険である。
- ・お隣、ご近所の人と仲の良い関係づくりが重要。
- ・災害時に備え地域の団体が連携していくことも考えられる。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- ・みどりはあるが、減ってきている。玄関先に植木を！
- ・宅地化などによって農地が減っており、残してほしい。
- ・区民農園など農地の有効活用が必要ではないか。
- ・整備中の緑地や自然資源との「みどりのネットワーク」を図る。
- ・緑が多く素敵な環境！！子育てに良い
- ・北烏山ののどかな感じは残したい。

テーマⅢ 交流・活動の拠点をもつまち

- ・高架化のスケジュールを住民が理解しやすいようにしてほしい。
- ・千歳烏山駅周辺に座って休憩できたり子どもを遊ばせたりすることができる身近な広場がもっとたくさんあると良い。
- ・ごちゃごちゃした街並みが烏山の魅力である。
- ・千歳烏山駅周辺は、世田谷文学館や図書館などのカルチャーや、アート、モードなどのファッションを感じられる街になると良い。
- ・区民センターを中心とした文化都市のイメージづくりはどうか。
- ・調和した建築物、個性的な街並み、例えば個人店を増やすなど、高架下も活用できると良い。
- ・大きな公園はあるが、身近な小さめの公園がない。
- ・多世代が交流できる公共施設があると良いのではないか。
- ・子育てで近所のおじいちゃんおばあちゃんに見てほしい。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- ・蘆花恒春園やその北側は落ち着いた街が残っている。
- ・寺町など、烏山地域には魅力的な資源があるが、住民も気づいていない。地域の魅力を発信してはどうか。
- ・岩崎学生寮周辺のみどりや文学館の活用

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- ・踏切が解消されると、救急車が移動しやすくなる。
- ・自転車道を充実させるべき。
- ・歩道の整備をしてほしい。交差点付近が狭くて危ない。
- ・コミュニティバスをはじめ、地域の公共交通の整備が必要である。
- ・南北交通の不便さを実感している。
- ・徒歩や自転車で自宅から駅までの移動が楽しい街になると良い。

区民意見のまとめ

- 災害に強い道路づくりに関する意見、狭い道路や行き止まり道路に対する意見がみられた。
- 災害に備えた平時の人とのつながりの大事さや在宅避難に関する意見がみられた。

- 民有地のみどりや農地の保全や活用が求められている。
- 現在の住環境における好意的な意見がみられ、公共公益施設などのみどりのネットワーク形成が求められている。

- 千歳烏山駅をはじめとした京王線各駅周辺において、事業者や利用者の声を反映した街づくりやまちの賑わいが望まれている。また連続立体交差事業に伴う街づくりに関する意見がみられた。
- 子どもや高齢者などの多世代が、遊んだり、休憩、集まることができる身近な場が望まれている。

- 地域資源に対する好意的な意見がある一方で、それらの更なる活用や情報発信が求められている。

- 連続立体交差事業が期待されており、道路整備による歩行者や自転車の安全性向上が求められている。
- 南北交通の課題を踏まえた公共交通の導入や居心地がよく歩きたくなる街づくりが望まれている。

素案へ反映した主な項目

テーマⅠ 安全で災害に強いまち

- 【延焼遮断帯や延焼遅延帯の整備を進める】
○補助54号線などの都市計画道路の整備にあわせ、沿道の不燃化を進めます。
- 【防災生活圏内の安全性を向上させる】
○地先道路の整備を進め、地域の防災性の向上を図ります。
- 【復興に備える】
○復興まちづくりを円滑に進めていくため、平時から人と人とのつながりを大事にするとともに復興手順や役割分担の整理を図ります。

テーマⅡ みどり豊かで住みやすいまち

- 【みどりとみずを守り育てる】
○民有地のみどりが多く残る住宅地では、各種制度の活用や地域ぐるみの緑化推進により、脱炭素地域づくりにもつながるみどりの街づくりを進めます。
- 都市にあるべきものとして位置づけられた農地について、区民の理解・関心を高めるとともに、農地保全重点地区における農業公園の整備などの保全策を進めていきます。
- 地域内のみどりが連続するよう、公共公益施設や宅地内の緑化、良好な市街地環境の形成を図り、グリーンインフラとしての活用も推進します。

テーマⅢ 活動・交流の拠点をもつまち

- 【区の北西部を支えるにぎわいとコミュニティの中心となるまちをつくる】
○主要な地域生活拠点である千歳烏山駅周辺地区について、商業の誘導や、交流機能などの充実を図り、本区の北西部を支えるにぎわいとコミュニティの中心となるまちを形成します。
- 【京王線沿線各駅で、にぎわいや活気のある拠点の魅力を高める】
○京王線の各駅周辺地区は、連続立体交差事業の進捗にあわせ、沿線街づくりの気運醸成に取り組むとともに、駅周辺のにぎわい形成や安全・快適な歩行空間などの街並みの改善などを進めます。
- 【身近に公園等の活動・交流の場をつくる】
○人々が集う公園・緑地・オープンスペースなどの活用により、区民にとって身近な活動・交流の場づくりを進めます。

テーマⅣ 地域資源の魅力を高めるまち

- 【風景の魅力を高める】
○歴史的資産とみどりの資産がある地区では、まちの魅力を高めるため、区民周知に努めるとともに、地域住民が地域の資産を守り・育て・つくるための活動を支援します。

テーマⅤ 誰もが快適に移動できるまち

- 【公共交通の安全性・利便性や快適性を高める】
○京王線の連続立体交差事業にあわせ駅前広場を整備するとともに、歩行者が安全で快適に回遊できるまちとして、駅周辺地区を一体とした沿線街づくりを進めます。
- 【地区の生活道路の整ったまちをつくる】
○主要生活道路や地先道路の整備を進めることにより、地区内の移動の利便性の向上を確保します。
- 【誰もが安全・快適に利用できる交通基盤とする】
○道路整備や駅周辺の拠点整備に際して、公共交通の導入可能な環境や自転車走行環境などを整え、安全で快適な移動の実現とあわせて、歩行者と自転車利用者の安全性の向上に取り組むとともに、座れる場づくりなど、居心地が良く歩きたくなる街づくりに取り組みます。